

初の家庭科 CS サポーター順調です！

R6.10.18 (金)

今月4日(金)から、コミュニティ・スクール(CS)の学校運営協議会から派生した学習活動支援部会が中心となり、募集・取りまとめを行ってくださった『家庭科 CS サポーター』の取組が始まりました。この取組のきっかけは、学校運営協議会、地域の役職者の方、教職員が一堂に会して、CSの組織・機能についての講演会を聞いた後、それぞれの立場から思うこと、困っていることについて出し合った交流会の延長が発端となりました。家庭科担当より、被服の授業の中でのアイロン、調理の授業での包丁等の使用について、目が届かない場面が多いから、サポートして下さると有難いという願いからスタートしました。その願いに対して、学校運営協議会の山田会長を筆頭にして、学校運営協議会委員の方が各地区で啓発を行って下さいました。そのお陰で、延べ人数50人を超える地域の方が協力の声を挙げて下さいました。

私は、その構成の中で、一番嬉しかったことは、校区である、5地区全てから参加希望があったことです。本当に有難い限りです。

11月初旬までこの取組は続きます。本日は、月吉区長の武田さんが見学に来て下さいました。ありがとうございました。

参加されたサポーターの方から、「元気をもらった。来てよかった。」「子どもたちが素直で楽しく過ごすことができた。」「一生懸命やっている姿に感心した。」生徒たちからは、「料理はあまりやっていなかったの、わからないことがあった時、丁寧に教えてもらえてよくわかった。」「地域の知っている人だったので、話しやすかった。」「日頃は地域の人以外と話す機会はないので、授業の中で会うことができたのがよかった。」「お手本を見せて下さって、私がやる時にはその時のポイントを話して下さいましてわかりやすかった。」といった感想がありました。

家庭科の技術的なところはもちろん、ちょっとしたコミュニケーションもとても大切だと思います。

